ニュース
ボランティアの輪
発行；　町田ボランティア連絡協議会
会長　　柿澤　治
2017 年 1 月号(第 98 号)

2017 年頭に当たって

町田ボランティア連絡協議会　会長　　柿澤　治

新年明けましておめでとうございます。会員の皆様には輝かしい新春をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。日頃より、町田ボランティア連絡協議会の運営、ボランティア活動の推進につきましてそれぞれの活動の立場から温かい励ましとご支援をいただき厚くお礼申し上げます。

昨年は、20 周年という節目の年を迎え、記念事業も無事に終えることが出来ました。今後の更なる飛躍に向けて、皆様からの忌憚のないご意見をいただき、新たな取り組みを提案していきたいと考えております。また、ボランティアセンターとの連携をさらに密にして協力・協働しながら、〈ぷらちなライフ〉など人と人のつながりあい、そして助け合えるまちづくりのため、自発的な市民の活動をますます応援してまいります。元気で明るく楽しくボランティア活動の充実を図るため皆様方のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。年頭に当たり、皆々様のご健勝とご活躍をお祈り申し上げ、新年のごあいさつといたします。

町田市社会福祉協議会　地域福祉推進室　室長　井上　ノリ子

新年おめでとうございます。会員の皆様には、良き新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。昨年は、ボランティア連絡協議会の設立二十周年記念式典を盛大に開催出来、またこの間 20 周年の、ボランティア団体の活躍や関係機関との連携を強めた確かなものとした年であったと思います。それらは記念誌として完成した「つながろうみんなの輪」に脈々と記載され読み継がれて行くことでしょう。今年も会員の皆様のご活躍に期待しています。

今後とも引き続き多くの皆さんのご支援を町田市ボランティアセンターへとお願い申し上げるとともに、本年が皆さまにとって穏やかで明るい年になりますようご祈念申し上げ新たな年のあいさつとさせていただきます。

町田市社会福祉協議会　地域福祉推進担当主幹兼町田ボランティアセンター長　小野　亘

新年あけましておめでとうございます。旧年中は貴会からいただきました、多くのご協力とご支援に職員一同、心より感謝申し上げます。今年も町田市社会福祉協議会では「だれもが安心してしあわせに暮らせるまちづくり」を目指して、町田ボランティア連絡協議会と協働し進めていきたいと思います。

会員皆様のますますのご健勝と、町田ボランティアセンターと町田ボランティア連絡協議会が車の両輪のごとく、更なる連携を祈念してご挨拶とさせていただきます。

ボラ連協役員　新春メッセージ

役員をさせていただいて 3 年がたちました。昨年は、ボラ連協 20 周年の節目の年となり、記念事業にも関わらせていただき、みなさんのご協力で無事終えることができました。ボラ連協加盟団体も 40 団体となり、新年はさらに“ボラの輪”を拡げていきましょう。

副会長　伊藤　幾夫

昨年は、20 周年記念式典も無事終える事ができ、楽しい時間でした。役員として不安でしたが、皆さんに助けて頂き、楽しみながらの日々でした。幸せな気持ちで新しい年を迎える事ができ感謝です。本年も宜しくお願い致します。

総務　境　百合子

昨年は、秋季バザー、まちカフェを会員の皆さまのご協力を得て、成功裡に終えることができました。今年は新春講習会・交流会、研修・交流会をはじめ、より一層、会員間相互の交流を深めるような企画をいたしたく、よろしくお願いします。

企画　浦崎　道教

広報を担当させて以来 3 回目の会報を無事お届けする事ができ、また昨年は、カラーで見る事ができ、経済的にも保存にも良い「会報の電子化」を実施しメールによる配布ができました。今年も各グループの日常活動やボラセンの活動をより広く知ってもらう活動をしてゆきたいと思います。

広報　玉木　徹

きっとくる。ボランティア希望者が増えてくる。ボランティアを必要とする現場が増えてくる。ボランティアを受け容れてくれる現場が増えてくる。ボランティアが楽しく活躍できる日々がやってくる。助け上手、助けられ上手を目指して元気な今を過ごしましょう。

会計　岡山　茂久

少数の役員で始まりました今年度の始まりでしたが、各実行委員会他たくさんの協力が得られ、20 周年記念式典も大成功、皆様のご協力の賜物です。残りの事業もこの調子でみんなの協力のもと成功させましょう。

監事　高橋　池鶴子

設立 20 周年記念式典のご報告

町田ボランティア連絡協議会は、2016 年に 20 周年を迎えました。この節目の年にあたり、10 月 22 日（土）に町田市健康福祉会館で、町田市、町田市社会福祉協議会、加盟団体より多くのお客様にご参加いただき、記念式典を開催いたしました。柿澤会長の挨拶があり、須崎信孝町田市地域福祉部長、佐々木のり町田市社会福祉協議会会長よりお祝辞を頂戴しました。桜美林大学教授野村知子氏による記念講演「ボランティアとコミュニティ」、映像紹介「ボラ連協 20 年の歩み」「ボラ連協加盟団体紹介」、立食式の懇談など盛りだくさんのプログラムで大盛会となりました。そして、伊藤副実行委員長の閉会の言葉で式典を締めくくりました。また、20 周年誌を参加者にお配りしました。

当日はお忙しい中、ご出席いただきました皆様、多大なるご支援ご協力をいただきました皆様に心から感謝いたしまして、ここにご報告申し上げます。当日の概要をフォトアルバムの形でまとめてありますので、詳細は、 https://1drv.ms/f/s!AhDDOllgWp4aqUlp0dXpwt1D-VLD　から（期限付き）閲覧・ダウンロード願います。

（会長　柿澤　治）

愛のともしび鉛筆販売について

愛のともしび鉛筆販売のはじまりは、40 年近く前になりますが町田市社会福祉協議会が“仲間の家”の資金作りとして、小、中学校のご協力を得て鉛筆販売を始められ、その目的を達成されたところで、丁度ボランティア連絡会の“活動資金として利用しては”とのお話があり喜んで引き継がせていただいたのが最初で、それから 30 年以上継続している（途中中断の時期もありましたが）事業です。当時の各グループから 1/2 名ずつ 4/5 名が各学校に販売に行くスタイルは今も同じです。愛のともしび運動とは、販売して活動資金を得る為だけでなく、各グループの交流、情報交換等また、各学校の生徒さんたちへのボランティアの啓蒙が大きな目的となっております。

2015 年度の活動報告は、ご協力いただいた小学校 42 校、販売回数 50 回、かかわったボランティアの人数 10 グループ計 284 名で、399,384 円を活動資金として按分、各グループが有効に活用させていただきました。本年度も各小学校のご協力を得て現在活動させていただいております。各学校へのご挨拶に始まり、販売協力いただく日の設定そして販売当日の協力グループの手配など、まとめていただくグループを引き受けてくださっているのは担当事務局で、一番手のかかる事務処理をしていただいて今年度も順調に進行中です。どうぞ最終の販売まで皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

(監事　高橋 池鶴子)

東京都社会福祉協議会会長表彰状を頂きました！！

ぐるーぷ・そらまめ　津川　陽子

平成 18 年「絵本歌集思い出」発行を機会に傾聴ボランティアグループぐるーぷ・そらまめが設立されました。何もない広い畑に種を植え水を注ぎ肥料をまき苦労してそらまめの芽を出させた先輩の皆様、その芽を大事に育て大きなそらまめの実をならせた現会員の皆、これからもまだまだ大きく上を向いて、伸びて行く事と思います。高齢者福祉施設、個人宅における傾聴活動、施設での参加型による歌おう会を通し、皆様の心に寄り添う事により限られた時間ではありますが、心穏やかに一時お過ごし頂けたらとおもい、また活動を通じて傾聴＝自分磨きでも、ある事と思われます。

今回このような素晴らしい賞を頂き会員皆光栄に思うと共に身の引き締まる思いでおります。また今後の活動の大きな励みに成りました。今後とも楽しく活動して行きたいと思っております。ありがとうございました。

受賞理由：受賞者の功績概要より抜粋
傾聴養成講座修了者、地域住民ボランティアが中心となり高齢者福祉施設及び、高齢者宅での傾聴活動を実施、各施設での音楽療法を取り入れた歌おう会の活動を行う。傾聴の学びを深めるため研修も行い、震災地支援にも取り込んでいる。

初めて秋季福祉バザーに参加して

要約筆記サークルかけはし 海老沼　美智子

当日は好天に恵まれ、開始時刻前から多くの方が並ばれました。かけはしからは総勢 9 名、内 2 名のバザー初心者が実行委員として参加しました。寄贈品が多数集まり嬉しい悲鳴。値段付け、保管、運搬に苦心しましたが会員の協力で乗り切りました。売上げも目標を達成。ママと訪れた小さな男の子が喜んでくれて私にも楽しい思い出ができました。次回への課題として、品物の陳列方法を工夫することで来場者がより選びやすく楽しめるやり方を考えたいと思います。戸惑うこともありましたが、ボラ連や他サークルの先輩達にご教示いただき感謝申し上げます。多くの方の来場に、恒例行事としての定着を実感し心強い思いでした。

第 10 回まちカフェに出展

12 月 4 日に開催された、第 10 回市民協働フェスティバル「まちカフェ！」は、天候にも恵まれ、大盛況でした。ボラ連協は昨年に引き続き、今回も出展しました。出展にあたって「市民・団体に本会および加盟団体の活動を知ってもらう」ことを目的とし、「広げよう　ボランティアの輪」をキャッチフレーズにして、横断幕(横 180cm)を掲げました。ボラ連協のブース番号は幸運にも「1」をいただき、来場者が入口から最初に目にする絶好の位置でした。「ボラ連協」の名前が多くの来場者の目に留まったことと思います。ブース内では、加盟団体のスライドショー、20 周年行事の写真展示、愛のともしび運動「鉛筆販売」を行い、隣のブース、社協ボランティアセンターと連携した出展は相乗効果があったと思います。なお、出展前日の準備に 1 加盟団体(2 名)、当日は 6 加盟団体(10 名)のご協力をいただきました。この場を借りて厚くお礼申し上げます。最期に、秋季バザーのように、加盟団体同士が協力しあって、イベントを成功させたとはボラ連協の”いいところ”と感じました。

（企画　浦崎　道教）

シンポジウム「ぼくたちの生きる社会を作る」開催

NPO 法人ゆどうふ　辻岡　秀夫

12 月 20 日、町田市中央公民館ホールにて、町田市生涯学習センター共催企画のシンポジウム「ぼくたちの生きる社会を作る」が行われました。これから迎える社会の担い手となる 20 代、30 代が中心となって運営している若手中心の市民団体 3 団体（ユースリンク（東京）、MOP（神奈川）、PSI カウンセリング（大阪））がそれぞれの活動についての紹介をし、後半はパネリストを囲んで会場全体でトークを行いました。トークでは「若者」の定義とは何かについての話、市民活動に対する社会的認知の課題、団体継続の難しさ、資金面での苦労など裏話もたくさん、現在日本において本業、生活の生業をなす活動と市民活動を両立させる難しさを感じると同時に、それでも必要性を感じ運営、事業展開をしている彼らの熱意が、多様な課題を解決するためのひとつの突破口になると思います。うれしかったのは幅広い地域（遠くは山梨県から！）、世代の方が会場に来ていただけたことです。当日ご来場いただきました皆様、本当にありがとうございました！

掲 示 板

次号(4 月発行)は、4・5・6 月に予定されているイベントを掲載。情報の締め切りは 3 月 13 日です。掲載申込みはボラ連協広報（玉木）まで。

●NPO 法人ゆどうふ　WRAP 講座●
＜自分のトリセツ（取扱説明書）を作ろう＞
この講座では、スランプに陥った時に使える、世界に 1 冊だけの自分自身の取扱説明書を 3 回の講座を通して作成します。
日時：1 月 22 日（日）、2 月 26 日（日）、3 月 26 日（日）いずれも 13:30～16:00
場所：町田市民フォーラム、町田市民ホール会議室（都度ご案内いたします）
講師：新屋　将先生（コープランド認定 WRAP ファシリテーター）
参加費：1 回 1,500 円　3 回 3,980 円
申込み先：042－860-2790（辻岡）

●字幕ファーム　「字幕付き落語」●
日時：2 月 11 日(土)　14:00～16:00
受付開始 13:45
場所：町田市民フォーラム 4 階 講習室
演者：三葉亭冷奴(さんようていひややっこ)
字幕付き落語・落語プチ体験 他
参加費：300 円(資料代)　磁気誘導ループ付き。
申込み先:メール zimaku.farm@gmail.com
ファックス 042-734-4005

●まちだ史考会　講演会●
＜演題：町田で遺跡発掘調査が始まった頃―昭和 30 年～40 年代を中心に―＞
日時：3 月 4 日（土）14:00～16:00
場所：町田市民フォーラム 3 階ホール
講師：菅野和郎氏　玉川大学教育博物館准教授
入場料：500 円（会員・非会員共通）
問合せ先：042-723-5358（稲葉）

●町田市点訳赤十字奉仕団●
＜点訳ボランティア養成講座説明会＞
本年 5 月より開講される養成講座（全 29 回）の説明会を行います。講座終了後は団員として活動していただきます。
日時：4 月 11 日（火）10 時～11 時
場所：せりがや会館 3 階ボランティアサロン活動室
申込み：はがきに住所、氏名、年齢、電話番号を記入の上、194-0013 町田市原町田 4-24-6 せりがや会館内町田市点訳赤十字奉仕団 講座説明会係まで。　4 月 5 日必着
問合せ先：042-735-6192（小西）

●シートラスト　成年後見支援　●
＜勉強会「お金の管理が困難になった時」＞
日時：平成 29 年 1 月 15（日）10:00～12:00
場所：町田市民フォーラム 4 階講習室
定員：20 名（申込み制）
＜次回勉強会「事例研究」＞
日時：平成 29 年 2 月 26 日（日）
場所：1 月と同様
申込み先：042-721-3336（斎藤）

●町田ボランティア連絡協議会のお知らせ●
＜ぷらちな☆ライフ＞
日時：2 月 25 日（土）13:30～16:00
会場：町田市健康福祉会館 4 階講習室
参加費：一人 300 円
参加申込：1 月 18 日（水）までに参加申込用紙（FAX 用）をボランティアセンターへ
問合せ先：090-2452-2134（伊藤）

＜新春講習会・交流会＞
新春講習会「認知症と歩む、本人の体験講話」
日時：1 月 16 日(月)　10:15～12:00
会場：町田市民フォーラム(4 階)　講習室
講師：松本礼子様、他　(NPO 法人認知症フレンドシップクラブ　本人会議)
新春講習会終了後、交流会を予定
問合せ先：090-3228-1221（浦崎）

●町田ボランティアセンターの事業予定●
＜ボランティア講座＞
1) 手話講習会　（3 月終了）
2) 要約筆記者養成講座　（3 月終了）
3) 「ここからはじまる☆ぷらちなライフ」
2 月 25 日（土）
4) 地域ふれあいフェスタ
バリアフリースポーツ「ボッチャ」にトライ
2 月 5 日（日）

＜会議施設等に関する事業＞
29 年度町田ボランティアセンター登録団体設等利用について説明会　2 月 22 日（水）

＜地域福祉推進のための事業＞
親子でヤキイモプロジェクト　（～2 月）
問合せ先：042-725-4465（井藤）

グループ活動紹介

こもれびハーツ　特養ホームでの音楽クラブ

大木　千冬

朝の始まる時間に、車椅子の方、自力で歩いてこられる方などのかたの手をかりて 50 人ぐらいが集まります。挨拶から初めて、手の気功、両手の運動をわらべうたなどを歌いながら一緒に行います。季節の歌を取り入れて、その時の気候や思い出などを語りながら童謡を何曲か歌ったら、口腔体操、肩たたき運動をします。百人一首、早口言葉などを歌の合間に取り入れて、ラジオ歌謡、歌謡曲、演歌など、色々な曲を利用者の方々の好みにあわせて歌います。皆さんがよく知っている歌や好きな歌がそれぞれなので、1 時間の間に声を上げて歌うことが出来るようにと思っています。色々と用意をした曲目や体操などは毎回全てが出来るのでは無く、ご利用者さまの気分を見ながら組み合わせていきます。そして、この時間を過ごした皆様から楽しかったという言葉を頂ければ最高です。

クラブの終わりは民謡をいくつか歌い、夕焼け小焼けでクールダウンして一本締めで、皆様　お手を拝借　よういポン　お疲れ様でした。特養ホームやデイサービスなどに伺いますが、人数はそれぞれ、ご利用者のかたの性格も変わりますので、行き先に合った音楽クラブをしていきたいと思っています。

新加盟グループ紹介

楽しく踊って若返る会

安倍　敏子

名前の通り「楽しく踊って若返る」事を目的とし、多数の方々に体験して欲しいと願い、この度入会させて頂きました。そこで、活動の様子を具体的に述べさせて頂きます。昔懐かしい歌を聞くと、歌っていたその頃を思い出し、眠っていた脳細胞が活発に増殖され、 生き生きとした心と体になります。好きな音楽に接するだけでも良い効果をもたらす訳ですが、その好きな音楽で身体を動かせば更に効果は大きいです。今の世の中はストレス社会です。ストレスによって自律神経が乱れますが、楽しく踊る事で心が安定し、自律神経は整えられます。認知症予防に、100 から 7 を引きながら歩くと良いそうですが、踊りは音楽に合わせて,手・足・首・頭・体全部を同時に動かしますから、尚更認知症予防につながります。日本舞踊に準ずる心地良く易しい踊りです。仕度は着物でも洋服でも構わないです。着物をお召しになりたいけれど着られない方には着付けも指導いたしますが、洋服の方には足袋又は靴下で踊っていただきます。又音楽は邦楽でも洋楽でも、お好きな曲で致します。心と体の健康への一助となればと、「町田ボランティア連絡協議会」に入会させて頂きました。 どうぞ、宜しくお願い申し上げます。

ボランティアのお問い合わせ、ご相談、何でもどうぞ

町田ボランティア連絡協議会

町田市原町田 4-9-8

町田市民フォーラム４階

町田ボランティアセンター気付

Tel　：042－725－4465

Fax　：042－723－4281

●編集後記

20 周年記念事業も無事に終え、新しい一歩を踏み出すことになるが、一年の計を立てようと身構えると武者震いが出る。

高齢のボランティアにとって、元気で明るく生き生きとボランティア活動をしていくには、日頃の体調管理から認知症予防、介護予防に取り組んで、元気なシニアでいきたいと改めて思う。　　（柿澤　治）